

第11回 NTCIR カンファレンス The 11th NTCIR Conference (NTCIR-11)

情報アクセス技術の評価 Evaluation of Information Access Technologies

併設 | 第6回 情報アクセスの評価に関する国際ワークショップ (EVIA 2014)

The 6th International Workshop on Evaluating Information Access

2014年12月9日(火) - 12日(金)

【於】 学術総合センター (東京・千代田区) National Center of Sciences, Tokyo, Japan

主催: 国立情報学研究所 National Institute of Informatics (NII) ・ NTCIR-11 実行委員会

URL: <http://research.nii.ac.jp/ntcir/ntcir-11/conference.html>

【使用言語】 英語

NTCIR (エンティサイル、NII Testbeds and Community for Information access Research) は、情報検索、質問応答、要約、テキストマイニング、機械翻訳など、膨大な情報の中から所望の情報にアクセスし、情報の理解や活用を支援する技術の大規模な評価基盤を、国内外の多数の研究者が共有しつつその共通基盤の上でそれぞれの研究を進め、検証、比較評価し、相互に学びあうフォーラムを形成するプロジェクトです。1998年から開始し、より豊かな情報アクセス技術の実現と未来価値創成を標榜し、1年半を1サイクルとして、毎回、いくつかのタスク (= 研究部門) を選択して活動を進めてきました。

第11回 NTCIR カンファレンス・EVIA 2014 は、どなたでも参加お申込みいただける国際会議です。前回の NTCIR-10 カンファレンスでは、20カ国から243名が参加し、実りある議論をしました。NTCIR-11 カンファレンスでは、タスク参加チームによる研究成果、他の評価ワークショップからの報告、次回 NTCIR-12 へのタスク提案発表など興味深いプログラムをご用意して皆さまのご参加をお待ちしております。基調講演には情報検索とHCIの第一人者である Susan T. Dumais (Microsoft Research) をお招きしています。EVIA 2014 は、情報アクセス技術の評価手法に関する研究発表の場です。NTCIR のサテライトワークショップとして広く一般から募集し査読を経た論文が発表されます。



研究部門 (タスク)

第11回 NTCIR では9つのタスクを選定しました。21カ国の100団体が一つ以上のタスクに参加表明し、実験を進めています。

IMine (検索意図の推定)、Math (数式検索)、MedNLP (医療分野テキスト処理)、MobileClick (モバイル用の検索と要約)、RITE-VAL (文意の同等性判定、大学入試へのチャレンジ)、SpokenQuery&Doc (音声検索)、QA Lab (大学入試を対象とした実世界質問応答)、Temporalia (時間関連情報検索)、RecipeSearch (料理レシピ検索)

スケジュール

DAY-1 2014年12月9日(火) The 6th International Workshop on Evaluating Information Access (EVIA 2014)

DAY-2~4 2014年12月10日(水)~12日(金) The 11th NTCIR Conference (NTCIR-11) 第11回 NTCIR タスクの成果の発表

基調講演

DAY-2 2014年12月10日(水) 午前 Susan T. Dumais (Microsoft Research) "Personalized Search: Potential and Pitfalls"

お問合せ先 【NTCIR-11 実行委員会】 ntc11-oc@nii.ac.jp / 【NTCIR カンファレンス事務局】 ntc11mtg-sec@nii.ac.jp



前回 NTCIR-10 カンファレンスの様子

参加登録

オンライン事前参加登録

<http://research.nii.ac.jp/ntcir/ntcir-11/participation.html>

会議に出席なさる方は、オンライン事前参加登録をお願いいたします。

事前参加登録は、クレジットカード払いとなります。ご所属機関等のご都合で、銀行口座振り込みが必要な方は、**NTCIR カンファレンス事務局** (ntc11mtg-sec@nii.ac.jp) にお問い合わせください。

当日参加登録

会議当日に会場で参加登録をしていただくこともできます。この場合、大変申し訳ありませんが、参加費は現金にて申し受けます。あらかじめ、ご了承ください。準備の都合上、できるだけ、事前登録をお願いできれば幸いです。

参加費等

参加種別	オンライン事前参加登録		当日参加登録 12月1日(月)以降は、会議当日会場にて登録(現金払いのみ)
	早期 2014年11月21日(金)まで	通常 2014年11月22日(土) ~11月30日(日)	
一般(学生以外)	35,000 円	40,000 円	45,000 円
学生	5,000 円	6,000 円	6,000 円
E V I A Only	5,000 円	5,000 円	5,000 円

- 【一般】には、会議 (EVIA 2014 と NTCIR-11 カンファレンス) のすべてのセッションへの参加、オンライン会議論文集*へのアクセス、バンケット (12月10日)、3回のランチ (12月10日~12日)、コーヒーブレイク、朝の軽食 (12月10日~12日) を含みます。
- 【学生】には、会議 (EVIA 2014 と NTCIR-11 カンファレンス) のすべてのセッションへの参加、オンライン会議論文集*へのアクセス、3回のランチ (12月10日~12日)、コーヒーブレイク、朝の軽食 (12月10日~12日) を含みます。バンケットは含まれておりません (必要に応じて、【学生用バンケット・チケット】を購入することができます)。
- 【EVIA Only】には、EVIA 2014 のセッションへの参加(12月9日)、オンライン会議論文集*へのアクセス、コーヒーブレイクを含みます。
- the coordinate organizations**に所属している学生 (当該機関でインターンとして働いている学生も含みます) は、特別参加いただけます。会議の全てのセッションへの参加、オンライン会議論文集*へのアクセスが無料です。ランチおよびバンケットは含まれておりません。
- オンライン会議論文集*は、2014年12月9日から、無料で一般公開します。会場でも無線 LAN でアクセスすることが可能です。

*本年度の会議論文集はオンラインのみでの発行となります。

**the coordinate organizations の一覧は、Web サイト(<http://research.nii.ac.jp/ntcir/ntcir-11/participation.html>)をご参照ください。

追加チケット	代金
学生用バンケット・チケット	6,000 円
同伴者用ランチ・チケット (1日あたり)	1,800 円
同伴者用バンケット・チケット	8,000 円

キャンセル

- 参加登録を取り消す場合は、2014年11月22日までに、登録事務局 (ntcir11_reg@ics-inc.co.jp) までご連絡くださいますようお願いいたします。
- 参加登録を取り消した場合、払い済み済の参加費は、会議終了後に以下の方針に従って払い戻しいたします。
2014年11月22日まで：全額払い戻しいたします
2014年11月23日以降：払い戻しなし

学生証

会期当日は**学生証**を必ず持参いただき、**受付時にご提示**願います。学生証が確認できない場合、一般参加費との差額を申し受けることもございますのでご注意ください。

第 11 回 NTCIR カンファレンス タスク参加チーム一覧 (アルファベット順, 100Groups)

Academia Sinica, Taiwan
Begum Rokeya Univ., Rangpur, Bangladesh
Beijing Univ. of Posts and Telecommunications, China
Capital Normal Univ., China
Carnegie Mellon Univ., USA
Chaoyang Univ. of Technology, Taiwan
CNGL Centre for Global Intelligent Content, Ireland
Delft Univ. of Technology (TU Delft), Netherlands
Dhirubhai Ambani Institute of Information and Communication Technology, India
Dublin City Univ., Ireland
Fujitsu Research & Development Center Co., LTD., China (2 Groups)
Graduate School of Harbin Institute of Technology at Shenzhen, China
Hunan Univ. of Science and Technology, China
INESC-ID / IST, Portugal
Information Retrieval Lab. Shandong Univ., China
Institute for Information Industry, Taiwan
ISI Kolkata, India
Jacobs Univ. Bremen, Germany
Masaryk Univ., Brno Czech Republic
Max Planck Institute for Informatics, Germany
Ming-Chuan Univ., Taiwan
Nanjing Univ., China
National Central Univ., Taiwan
National Kaohsiung Univ. of Applied Sciences, Taiwan
National Taiwan Ocean Univ., Taiwan
National Taiwan Univ., Taiwan
National Tsing Hua Univ., Taiwan
Natural language processing lab at Harbin Institute of Technology, China
National Chengchi Univ., Taiwan
Northwest Normal Univ., China
Norwegian Univ. of Science and Technology, Norway
Peking Univ., China
Pohang Univ. of Science and Technology (POSTECH), Korea (2 Groups)
Rochester Institute of Technology, USA
Samsung Electronics, Korea
Taipei Tech, Taiwan
Tamkang Univ., Taiwan
Technical Univ. of Valencia, Spain
The Univ. of Manchester, UK
Tsinghua Univ., China
Technische Univ. Braunschweig, Germany
Univ. Of California, Berkeley, USA
Univ. of Caen, France
Univ. of Chinese Academy of Sciences, China
Univ. of Delaware, USA
Univ. of Glasgow, UK
Univ. of Montreal, Canada
Univ. of Tehran, United Arab Emirates(UAE)
Univ. of Wollongong, Dubai, United Arab Emirates(UAE)

Vienna Univ. of Technology, Austria
VNU Univ. of Engineering and Technology, Hanoi, Vietnam
Wuhan Univ., China
Wuhan Univ. of Science and Technology, China
Yuan Ze Univ., Taiwan

大同大学, Japan
同志社大学, Japan
富士通研究所, Japan
福岡大学, Japan
岐阜大学, Japan
群馬大学, Japan
広島市立大学, Japan
日立製作所, Japan
北海道大学, Japan (2 Groups)
北海学園大学, Japan
岩手県立大学, Japan
北陸先端科学技術大学院大学, Japan
慶應義塾大学, Japan
北見工業大学, Japan
工学院大学, Japan
京都産業大学, Japan
京都大学, Japan (3 Groups)
九州工業大学, Japan
名古屋大学, Japan (2 Groups)
奈良先端科学技術大学院大学, Japan
国立情報学研究所, Japan (3 Groups)
国立保健医療科学院, Japan
日本ユニシス株式会社, Japan (2 Groups)
NTTグループ 先端技術総合研究所, Japan
岡山県立大学, Japan (2 Groups)
大阪教育大学, Japan
小樽商科大学, Japan
龍谷大学, Japan
芝浦工業大学, Japan
静岡大学, Japan (2 Groups)
徳島大学, Japan (2 Groups)
東京大学, Japan (2 Groups)
東京工業大学, Japan
豊橋技術科学大学, Japan (4 Groups)
兵庫県立大学, Japan
宇都宮共和大学, Japan
安田女子大学, Japan
山梨大学, Japan
横浜国立大学, Japan



第 11 回 NTCIR Conference 運営組織 (姓名のアルファベット順)

【NTCIR-11 General Chairs】

神門 典子(NII), 加藤 恒昭(東京大学), 酒井 哲也(早稲田大学), Douglas W. Oard(Univ. Of Maryland, USA),
Mark Sanderson(RMIT, Australia)

【NTCIR-11 カンファレンス 実行委員会】

神門 典子(NII, 委員長), 加藤 恒昭(東京大学), 岸田 和明(慶應義塾大学), 上保 秀夫(筑波大学)
[事務局] 岡田 まりこ, 松尾 和子

【NTCIR-11 プログラム委員会】

委員長: 岸田 和明(慶應義塾大学), 上保 秀夫(筑波大学)

委員会: Hsin-Hsi Chen(National Taiwan Univ., Taiwan), Charles L.A. Clarke(Univ. of Waterloo, Canada), Kalervo Jarvelin(Univ. of Tampere, Finland), Gareth Jones(Dublin City Univ., Ireland), Gary Geunbae Lee(POSTECH, South Korea), Maarten de Rijke(Univ. of Amsterdam, The Netherlands), Stephen Robertson(Microsoft Research Cambridge, UK), Ian Soboroff(NIST, USA), 岸田 和明(慶應義塾大学), 上保 秀夫(筑波大学)

【NTCIR-11 研究企画運営委員会】 (*はタスクリーダー)

- コア・タスク -

1. Search Intent and Task Mining (IMine) オーガナイザ

竇志成(中国・マイクロソフトリサーチアジア), 加藤 誠(京都大学), 刘 奕群*(中国・清華大学), 大島 裕明(京都大学), 宋睿华(中国・マイクロソフトリサーチアジア),
山本 岳洋(京都大学), 张敏(中国・清華大学), Ke Zhou(Univ. of Edinburgh, UK)

2. Mathematical Information Access (Math) オーガナイザ

相澤 彰子*(NII), Michael Kohlhase(Jacobs Univ. Bremen, Germany), Iadh Ounis(Univ. of Glasgow, UK)

3. Medical Natural Language Processing (MedNLP) オーガナイザ

荒牧 英治*(京都大学), 狩野 芳伸(静岡大学・JST さきがけ), 森田 瑞樹(京都大学), 大熊 智子(富士ゼロックス株式会社)

4. MobileClick (1Click) オーガナイザ

Matthew Ekstrand-Abueg(Northeastern Univ., USA), 岩田 麻佑(KDDI 株式会社), 加藤 誠*(京都大学), Virgil Pavlu(Northeastern Univ., USA),
酒井 哲也(早稲田大学), 山本 岳洋(京都大学)

5. Recognizing Inference in TExt and Validation (RITE-VAL) オーガナイザ

林 川傑(台湾・国立台湾海洋大学), 松吉 俊*(山梨大学), 三田村 照子(米国・カーネギーメロン大学), 宮尾 祐介(NII), 柴田 知秀(京都大学),
施 政璋(台湾・中央研究院), 渡邊 陽太郎(日本電気株式会社),

6. Spoken Query and Spoken Document Retrieval (SpokenQuery&Doc) オーガナイザ

秋葉 友良*(豊橋技術科学大学), Gareth Jones(Dublin City Univ., Ireland), 南條 浩輝(龍谷大学), 西崎 博光(山梨大学)

- パイロット・タスク -

7. QA Lab for Entrance Exam (QALab) オーガナイザ

石下 円香(NII), Kelly Itakura(Univ. of Waterloo, Canada), 神門 典子*(NII), 狩野 芳伸(静岡大学・JST さきがけ), 三田村 照子(米国・カーネギーメロン大学),
阪本 浩太郎(横浜国立大学), 渋谷 英潔(横浜国立大学)

8. Temporal Information Access (Temporalialia)オーガナイザ

Roi Blanco(Yahoo Labs, Barcelona, Spain), Adam Jatowt(京都大学), 上保 秀夫*(筑波大学), 那珂 元(筑波大学)

9. Cooking Recipe Search (RecipeSearch)オーガナイザ

Fernando Diaz(Microsoft, USA), Gregory Druck(Yummlly, USA), 塚田 信(女子栄養大学), 安川 美智子*(群馬大学)

【EVIA 2014 プログラム委員会】

委員長: Stefano Mizzaro(Univ. of Udine, Italy), Ruihua Song(Microsoft Research Asia, China)

委員会: Nicholas Belkin(Rutgers University, USA), Hsin-Hsi Chen(National Taiwan University, Taiwan), Charles L. A. Clarke(University of Waterloo, Canada), Georges Dupret(Yahoo! Labs, Chile), 藤井 敦(東京工業大学), 上保 秀夫(筑波大学), Gareth Jones(Dublin City Univ., Ireland),
岸田 和明(慶應義塾大学), 刘 奕群(中国・清華大学), Stefano Mizzaro(Univ. of Udine, Italy), 酒井 哲也(早稲田大学), Falk Scholer(RMIT University, Australia), Ian Soboroff(NIST, USA), Ruihua Song(Microsoft Research Asia, China), Paul Thomas(CSIRO, Australia), Emine Yilmaz(Univ. College London, UK)

NTCIR-11 カンファレンスのスポンサーも募集しています。詳しくは【 ntc11-sponsor@nii.ac.jp 】までお問い合わせください。

